

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

事業部門

I 盲導犬貸与事業

10月より、西宮市在住の女性1名に共同訓練を実施したが、訓練犬の健康面に問題が出てしまったため、訓練を中止した。2月から違う訓練犬と共同訓練を開始するも、3月末までに訓練を終える事ができず、現在も継続中。

II 社会参加訓練事業

盲導犬使用者及び使用予定者に対する歩行、及び視覚障がい者が社会に参加するため、次の訓練を行った。

- ① 盲導犬貸与希望者に対する面接を5件行った。
- ② 盲導犬使用者のフォローアップとして14名、延べ70回の歩行訓練指導及び相談を行った。

III 盲導犬育成事業

盲導犬を育成するために、次の事業を行った。

① 繁殖

盲導犬候補犬及び繁殖犬確保の為、繁殖事業において協力関係のAGBN(ASIA GUIDE DOGS BREEDING NETWORK)実務者会議に参加し、国内外の盲導犬育成施設及び優良な犬を保有するブリーダーとの交流を行った。

盲導犬候補犬確保を目的とし、当協会で生まれたパピー頭数13頭。

(交配件数は4回、内2回出産し、1回目は9頭、2回目は4頭。)

北海道盲導犬協会より3頭、一般ブリーダーより成犬1頭と子犬1頭、九州盲導犬協会より1頭、日本盲導犬協会より1頭、計7頭譲り受けた。

② パピーの育成

令和4年度は、16頭の子犬をパピーウォーカーに委託し、11頭の子犬の委託を修了した。パピーウォーカーに対して、巡回指導を計43回、月齢の近い犬が参加して研修会を1回行い、併わせて電話での指導を行った。

③ 盲導犬候補犬の訓練

盲導犬候補犬の訓練において稟性・健康評価ならびに定期的な訓練評価を実施し、適性のある犬に対し候補犬の訓練を行う。適性のない犬の中でPR犬として活用できる犬を選定し、啓発活動用に訓練を実施した。

④ キャリアチェンジ犬

広告媒体などを積極的に活用し、キャリアチェンジ犬譲渡希望者を継続的に募集し、確保に努め、キャリアチェンジ犬 12 頭を譲渡した。

⑤ リタイア犬

広告媒体などを積極的に活用し、リタイア犬譲渡希望者を継続的に募集確保に努め、リタイア犬 6 頭を譲渡した。

犬舎状況(令和 5 年 3 月末時点)

活動盲導犬 14 頭/ 累計 73 頭

協会所有犬	頭数
訓練犬	7
繁殖犬	10
パピーウォーカー委託中	19
PR 犬	2
その他 (キャリアチェンジ、リタイア待ち)	2
合計	40

譲渡犬	今期頭数	累計頭数
リタイア犬	7	230
キャリアチェンジ犬	12	136

IV 盲導犬歩行指導員、盲導犬訓練士および職員の研修

- ① 連合会職員相互研修会が 6 回開催され、各担当職員で参加した。
- ② 動物福祉講義が 3/29 より開始。計 10 回開催予定。犬舎・事務局職員が参加。

V 盲導犬啓発普及事業

盲導犬の必要性について社会全般への啓発を図り、盲導犬育成を推進するため、次の事業を行った。

- ① 盲導犬希望に関する問い合わせが 22 件あり、その内、5 名に対して、盲導犬の体験歩行を実施し、盲導犬貸与希望者を募るとともに広報誌「ワンダフル通信」の音声版の継続発行を通して、盲導犬に関する情報提供を行った。
- ② 今年度、コロナ感染症は終息に向かい、学校講演や施設見学会、一般講演数はやや多くなり、各種イベント参加数はコロナ前の 60%くらいまで回復した。また、啓発資料の貸出

しを次の通り行った。

イベント活動	計	47回
施設見学会	計	5回
特別見学会	計	3回
学校講演	計	74回(神戸市49校、姫路市7校、加古川市5校、その他13校)
一般講演	計	9回
資料(啓発パネル・DVD)の貸出し回数		5回

- ③ イベントや講演時に盲導犬と視覚障害についての正しい理解と啓発に努めた。
- ④ 街頭募金活動
姫路、西神、名谷、大丸前、三宮などで計41回実施し、PR犬とのふれ合いやチラシ配布を行い盲導犬の啓発に努めた。
- ⑤ 広報誌「ワンダフル通信」を年4回(4月・7月・10月・1月)発行。
視覚障がい者向けの音声版「ワンダフル通信」発行。
ホームページの更新を随時行い、協会のイベントや情報を発信した。
- ⑥ 啓発用資料等の充実を図り、渉外用協会紹介3つ折パンフレットとサンキューカードの配布に努めた。また盲導犬チャリティーグッズの新商品開発を行い、啓発活動で紹介し寄付を募った。(ポロシャツ、クリアファイル、付箋、ハンカチ、新Tシャツ)
- ⑦ 新聞・ラジオ等の取材機会を積極的に設け、ネットや紙面記事となるよう努めた。
また、Facebook、Instagramに各236回、情報発信を積極的に行った。
5月クラウドファンディングの期間中、神戸新聞とネットニュースに掲載された。
- ⑧ 「第20回国際盲導犬デーin神戸」は雨天のため屋内での音楽コンサート中心に行ない、「慰霊祭」は延期になった。

VI 関係団体協力事業

- ① 神戸市西区ボランティアセンターと連携するとともに、定期的にメディア・広報誌にてボランティア募集情報を発信し、ボランティアの安定的な確保に努めた。
- ② 国際盲導犬連盟の正会員として、施設環境を常に国際レベルの基準に保つよう、定期的に見直し・修繕を行うよう努めた。
- ③ 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会、AGBN、その他補助犬団体との相互協力を行った。

VII 相談事業

- ① 盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、迅速に対応した。

管理部門

(1) 個人会員・団体会員の増強

広報誌「ワンダフル通信」を通じて情報発信を行い、盲導犬育成事業への継続的な支援をお願いするとともに、安定的な事業運営の為、イベントや講演、クラウドファンディング等で新規会員入会の働きかけを行った。

新規会員数 44 名

(2) 寄付支援者の増強

ご寄付いただく新たな方法として昨年より始めたクレジットカード決済(CANPAN 決済サービス)を継続的に行い、定着しつつある。

1000 円～10000 円の金額を用意した他、マンスリー会員(500 円、1000 円)にも登録でき、好きな時にご寄付いただけるようになった。

(3) 募金箱設置先の拡大

新規募金箱設置件数 145 件

募金箱交換件数 1,286 件

(4) 街頭募金の定期的実施

協会募金活動ボランティア、高等学校やライオンズクラブ様と協力して安定的な事業運営の為の募金活動を行った。

(5) 自動販売機設置の拡大

新規自動販売機件数 1 件

自動販売機設置件数 40 件(令和 4 年 3 月 31 日現在)

(6) クラウドファンディング挑戦

盲導犬を確保する目的で 4 月 1 日～5 月 25 日(55 日間)まで READYFOR のサービスを使いクラウドファンディングを行い目標の 350 万円に対して 429 万円を達成することができた。

(7) ボランティアの養成

盲導犬育成事業への支援ボランティア(事務、イベント関係及び環境整備)の確保とスケジュール管理のためにグループウェア(ラインワークス)を活用した。

(8) その他、目的を達成するために会議を行った。

毎月上旬に全体会議、貸与委員会会議を行った。

第3火曜日に犬舎会議、毎月上旬に事務局連絡会を開催し、効率的な組織運営や資金獲得に向けて職員の相互理解、意識を高めて目的に向けて活動するよう努めた。

それ以外にも随時、CC犬、R犬譲渡委員会会議、医療費助成検討会議、助成金ミーティングを行った。

(9) 職員のスキルアップや技術の向上を図るための研修に参加

- 関西盲導犬協会へ長期研修(1名1年間) 1名
- 中山同行援護従事者養成研修 1名
- 補助犬に関する研究会 延べ10名
- ロイヤルグルーミング研修 1名
- 社会福祉協議会セミナー 2名
- 施設連合会 クレーム対応セミナー 2名

※4月以降企画進行中	組織内コミュニケーション研修	1回
	動物福祉(行動分析学)セミナー	10回
	ハズバンドリートレーニング	13時間

施設整備

(1) ボランティアの協力を得て、定期的にドックランや協会周辺の草刈りをおこない、環境美化と犬たちの安全な訓練のための環境整備をおこなった。

更に下記の助成金を活用し各種備品を購入した。

- 兵庫県共同募金会 協会床の滑り止め加工(30万円)
- NHK 歳末たすけあい義援金 パピー用新ケージ(16万)
- 神戸やまぶき財団前期 上水ポンプ、浄水器等(109万円)
- 神戸やまぶき財団後期 コンクリートフリーラン新規屋根と排便所
屋根取り替え工事(192万円)
- 清水基金 犬舎改修工事(970万円)
- 事務局棟屋根葺き替え工事 助成金不採用 自己資金(275万円)